



中部電力

特定外来生物って何？

・地域の自然環境に大きな影響を与え、**生物多様性を脅かす**おそれのあるもののうち、外来生物法で、①輸入、②飼養や運搬、③野外に放つことが原則禁止された生物を**特定外来生物**といいます。**違反者には重い罰則**(懲役もしくは罰金)が課せられます。

・平成30年4月1日現在、特定外来生物として指定されている生物は148種類です。

哺乳類(25種類) 鳥類(7種類) 爬虫類(21種類) 両生類(15種類) 魚類(26種類)
クモ・サソリ類(7種類) 甲殻類(5種類) 昆虫類(21種類) 軟体動物等(5種類) 植物(16種)



アライグマ



カナダガン



カミツキガメ



オオヒキガエル



オオクチバス



セアカゴケグモ



アルゼンチンアリ



ニューギニアヤリガタリクスムシ

オオキンケイギク	アレチウリ
ミズヒマワリ	ナガエモウセンゴケ
ツルヒヨドリ	オオフサモ
オオハンゴンソウ	ボタンウキクサ
ナルトサワギク	アゾラ・クリスタータ
オオカワヂシャ	ルドウィギア・グランディフロラ
ナガエツルノゲイトウ	ビーチグラス
ブラジルチドメグサ	スパルティナ属全種

赤字: 当社で研究対象とした植物

当社の生物多様性に関する取り組み

なぜ、中部電力が「生物多様性の保全」を行うの？

エネルギーをお届けするために生態系を大きく傷つけないよう、生物多様性に配慮した建設工事や設備の運営管理を行うためです。

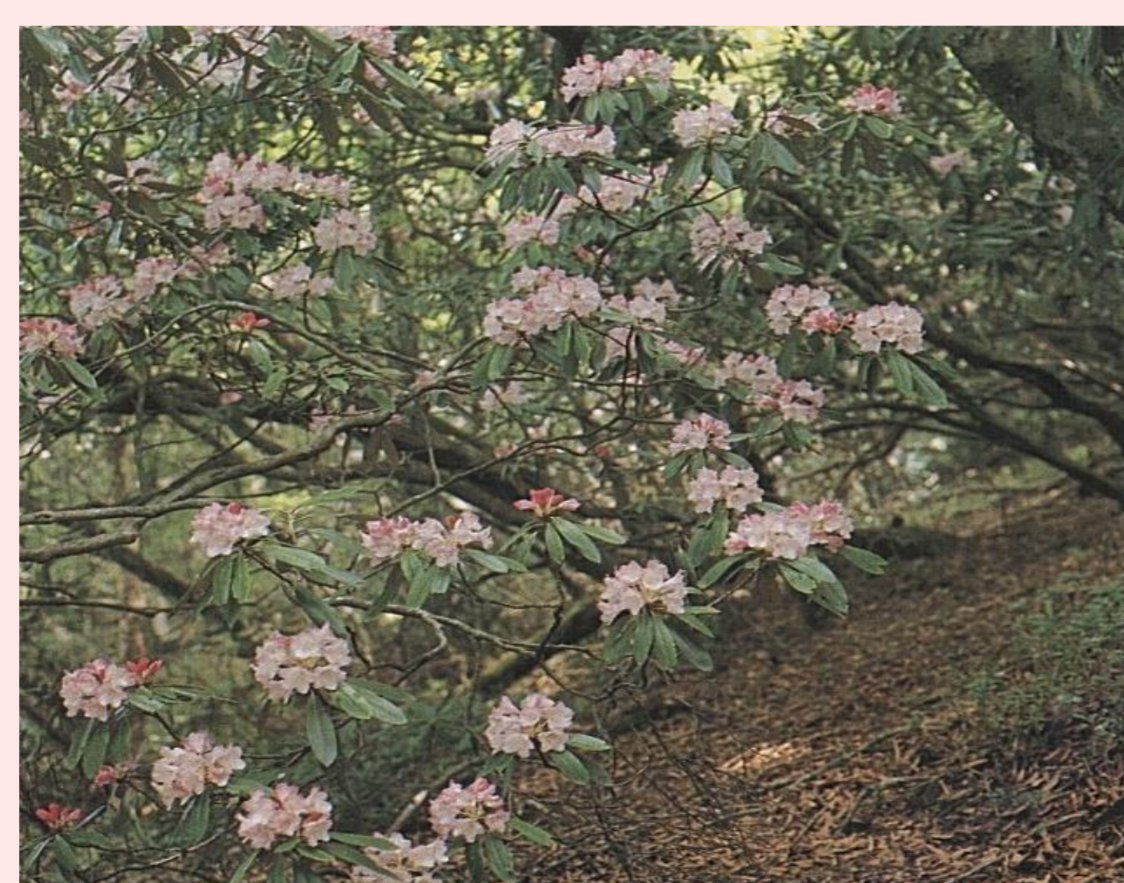
どんな取り組みをしているの？

・絶滅危惧種の保護技術開発

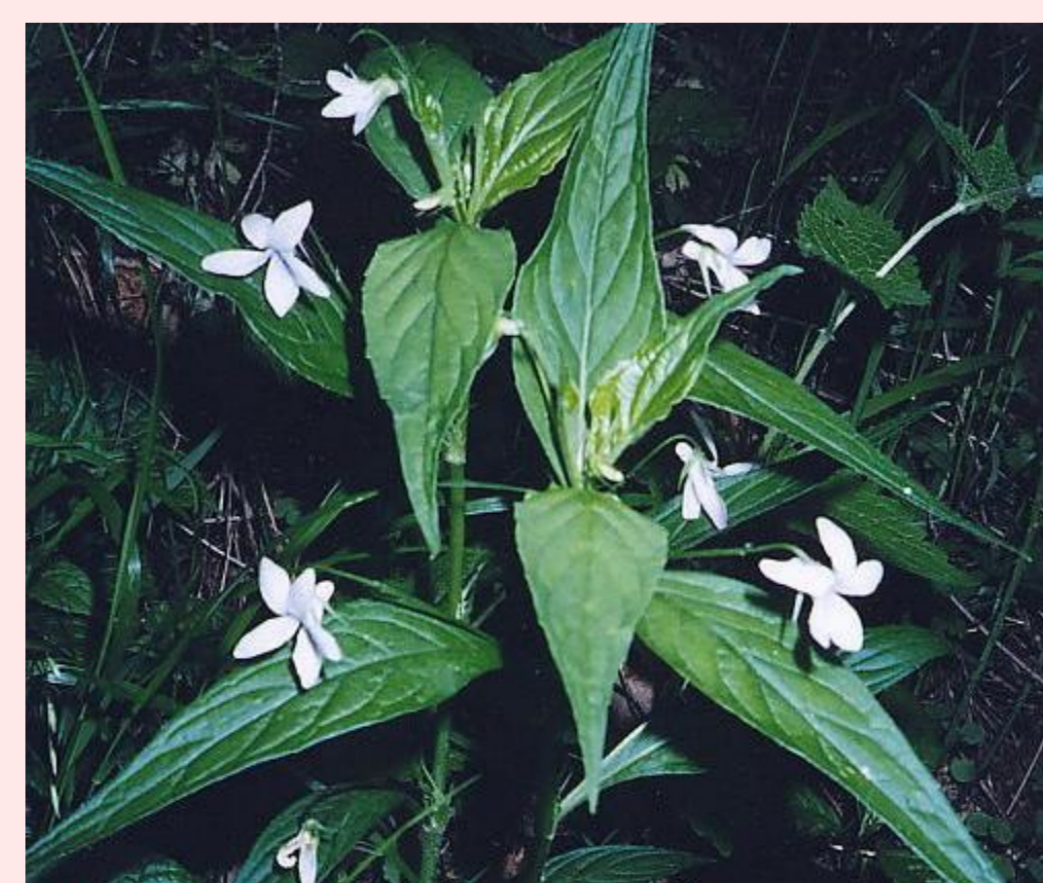
社有地および電力設備周辺で育成が確認されたサルメンエビネ、キョウマルシャクナゲ、タデスミレなどの絶滅危惧種について、生理・生態の解明や増殖技術を確立し、その保護に努めています。



サルメンエビネ



キョウマルシャクナゲ



タデスミレ



シナノショウキラン



キヨミトリカブト

バイオ技術グループで保護技術を開発した希少な植物たち

・碧南火力発電所〔エコパーク〕

シギ、チドリ類の渡来地である愛知県の矢作川河口域に接する碧南火力発電所では、野鳥池や外敵の侵入を防ぐ循環水路を設けるなど、生物生息環境の保全に配慮した「エコパーク」を整備しています。